



Guide 2025

TOHO Daini Senior High School

Piano
Vocal
Wind, String and Percussion Instruments
Composition



#東邦だからできること

東邦音楽大学附属東邦第二高等学校

学校法人 三室戸学園



学校法人三室戸学園のはじまりは1938年——。

以来、「音楽を幹にした豊かな人間性の育み」を目的とする一貫教育を通じて、
音楽の最前線で活躍し、社会に貢献する人材の育成に取り組み、
数多の有能な人材を輩出してきました。

本学園が推進する学びの中軸は「音楽人」としての資質を磨く場所。
ただそれは音楽のみを究めることを指しているわけではありません。

音楽教育の本質を大切にしながら、社会貢献はもちろん、
世界の人々と堂々とわたりあえるバランス感覚のとれた人間への成長を促すこと。
これが本学園の使命だと考えます。

#東邦だからできること

One to One Quality

CONTENTS

イントロダクション	2	演奏活動	12
東邦第二高等学校での学び	4	音楽を通じた地域活動	13
東邦第二高等学校の教育システム	6	キャンパスガイド	14
卒業生の活躍	9	卒業生インタビュー	17
ピアノ専攻・声楽専攻	10	沿革/アクセス	18
管弦打楽器専攻/作曲専攻	11	ごあいさつ	19

#東邦だからできること

One to One Quality



ここでしか 得られない体験

One to One 教育へのこだわり

東邦の学びの中核である「One to One」。

教員は生徒の個性を尊重し成長を見守り、生徒は教員を信頼する。

こうした当たり前とも思える関係性を重視する校風が、東邦には根付いています。

少人数制による学びのもと、音楽力の向上はもちろん、

社会で活躍するためのスキルやマナーを身につけ、個の成長を促します。



■ 三室戸学園の建学の精神

音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする

■ 教育の基本方針

一貫教育の実践

本学園の短期大学・大学・大学院進学を視野に入れた一貫教育体制で、力強い人間力を養う実践的な教育を行っています。

少人数制による教育

少人数制による One to One のきめ細かい教育を実践。大学や短期大学の教授陣による個人レッスンも充実しています。

グローバル化への対応

外国人講師による英会話と、3年次必修のドイツ語で、ますます進む国際化に通用するコミュニケーション力を磨きます。

地域社会との交流

年間を通じてボランティアコンサートを行っているほか、募金活動や音楽祭などの地域活動にも積極的に参加しています。

#東邦だからできること

One to One Quality



東邦第二高等学校の教育システム

Education

すべての授業で One to One の少人数制を採用。生徒一人ひとりの学ぶ意欲や思考力・表現力を育み、個々の可能性を広げるための指導を行っています。



音楽方面で活躍するための基盤固め

高校課程は、本学園の大学・短期大学への進学を見据えた技術的・精神的な成長を促す点が特徴です。たとえば、専攻の実技レッスンでは基盤固めをしっかり行い、その先の発展的な学びへスムーズに移行できるよう導きます。



週6日制のカリキュラム

これまでに身につけた基礎学力の向上を目指し、さらなる知識の定着・充実を目標としています。週6日制のカリキュラムにより、音楽の個人レッスンや実技練習も十分に行うことができ、一般教養と専門分野を効率的に学べます。



個・技を伸ばすカリキュラム

一人ひとりの未来の幅広い可能性に対応できるよう、普通教科と学園独自の音楽専門教科をバランス良く習得できるカリキュラムを設定しています。外国人講師による英語教育に注力するほか、3年次からはドイツ語も学習します。

■ カリキュラム

2025年度入学生用(予定)

教科	科目	1年	2年	3年		
普通教科等	国語	現代の国語	2			
		言語文化	2			
		文学国語		3	3	
	地理歴史	地理総合	2			
		歴史総合			2	
	公民	公共		2		
	数学	数学Ⅰ	2	2		
	理科	科学と人間生活	2			
		生物基礎			2	
	保健体育	体育	2	3	2	
		保健	1	1		
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3			
		英語コミュニケーションⅡ		3	3	
論理・表現Ⅰ		1	1	1		
ドイツ語				2		
家庭情報	家庭基礎		2			
	情報Ⅰ	2				
小計		19	17	15		
専門教科	音楽	音楽理論	2	2	2	
		音楽史	1	1	1	
		演奏研究			1	
		ソルフェージュ	3	3	3	
		声楽	独唱(主専攻)*1	2	2	2
			声楽(副専攻)*2	1	1	1
			様々な形態のアンサンブル*3	2	2	2
		器楽	独奏(主専攻)*4	2	2	2
			ピアノ(副専攻)*5	1	1	1
			管弦打(副専攻)*6	1	1	1
	様々な形態のアンサンブル*7		1	1	1	
	作曲*8	2	2	2		
	鑑賞研究		1			
小計		11~13	12~14	12~14		
総合的な探究の時間		1	1	1		
特別活動(単位時間数)		(35)	(35)	(35)		
合計		31~33	30~32	28~30		

※数字は1週間における単位時間(=授業の回数)を示しています。

*1 声楽専攻者 必履修 *2 ピアノ・管・弦・打・作曲専攻者 必履修 *3 音楽科生徒全員 必履修
*4 ピアノ・管・弦・打専攻者 必履修 *5 声楽・管・弦・打・作曲専攻者 必履修
*6 ピアノ・声楽・作曲専攻者 選択履修 *7 管・弦・打専攻者 必履修 *8 作曲専攻者 必履修

■ 音楽を主とした学びの特色

基礎学力の向上(普通教科の修得)

高度な音楽知識を理解習得するためには、しっかりとした基礎学力が欠かせません。本校では音楽教科とともに普通教科も大切に、基礎学力の充実を図り、知性を育みながら音楽力を高める教育を実践しています。

グローバル化への対応(語学力の強化)

外国人講師による英語教育に注力するほか、東邦音楽大学で必修となるウィーン短期留学に向けたドイツ語も3年次に学習します。

大学教授陣による個人レッスン

東邦音楽大学 短期大学の教授陣による個人レッスンを実施。各生徒の目標や能力に合わせた専門的かつ綿密な指導で、確かな技術を身につけます。また、主専攻の実技指導のほか、希望者には副専攻管弦打楽器のレッスンも行います。

音楽の基礎力の向上(ソルフェージュ)

ソルフェージュ(聴音 新曲視唱)は音楽力の基礎を養う大切な学びです。ゼロから始める未経験の生徒でもきちんと習得し、レベルアップしていけるよう、グレード別にクラスを分けて少人数での授業を展開しています。

実践的な授業(弦楽合奏・ウインドオーケストラ)

ウインドオーケストラにも力をそそいでいます。演奏家・指揮者として活躍する須永真純先生の授業は全学年合同で行われ、演奏技術はもとより、連帯感、責任感、協調性まで、音楽演奏に不可欠な素質を磨きます。

講師陣の
プロフィール▶



■ 進路・進学

一貫教育を実践している本学園では、高校生の多くが東邦音楽大学、または東邦音楽短期大学へ進学します。進路については、一人ひとりの資質と将来性を見極め、細やかなアドバイスをしています。

[将来の進路]

● 音楽家としてステージに立つ・創作する仕事

ピアニスト・器楽演奏家、声楽家・オペラ歌手、作曲家・編曲家、シンガーソングライター、自衛隊音楽隊員、消防音楽隊員など

● 音楽で人を助ける・人の成長をサポートする仕事

中学校教諭(音楽)、高等学校教諭(音楽)、音楽療法士、音楽教室講師、吹奏楽指導員など

※東邦音楽大学では東京未来大学通信教育課程との連携により、小学校教諭普通免許状および幼稚園教諭普通免許状を取得する制度もあります。

● 音楽を通して身につけた知識・技術を生かす仕事

声優・俳優、音楽事務所、オーケストラ事務局、レコード会社、福祉系施設 公的機関、一般企業など

● 進学

東邦音楽大学大学院、東邦音楽大学アドバンスコース、東邦音楽大学総合芸術研究所、海外留学など

■ コンクール受賞・入賞実績

本校の生徒は各種音楽コンクールにおいて多数の受賞・入賞実績を築いています。参加者同士が競い、高め合うコンクールへの挑戦はステップアップの大きなチャンスとなるため、今後も全面的にサポートしていきます。

◎第28回日本トロンボーンコンペティション

[独奏部門 高校生以下の部] 奨励賞

◎第87回東京国際芸術協会 新人演奏会

[バストロンボーン] 出演

◎第2回東京国際管弦声楽コンクール

[声楽部門(ソプラノ) 高校生の部] 第5位

◎第3回国際声楽コンクール東京

[ミュージカル高校生部門] 奨励賞

◎第25回日本演奏家コンクール

[声楽部門(テノール) 高校生の部] 第2位

◎中学生・高校生のための第20回日本管弦打楽器ソロ・コンテスト

[高校生部門 金管楽器の部(ユーフォニアム)] 金賞/埼玉県知事賞

中学生・高校生のための 日本管弦打楽器 ソロ・コンテスト

中学生・高校生の皆さんの個人演奏レベルの向上と、管弦打楽器の普及啓発を図ることを目的とした東邦音楽大学主催「日本管弦打楽器 ソロ・コンテスト」は、日本各地からの参加者が川越キャンパスにおいて演奏を響かせます。令和4年度の開催では東邦音楽大学附属東邦第二高等学校 川原潤が文部科学大臣賞を受賞しました。



#東邦だからできること

One to One Quality

TOHO Daini Senior High School

西澤くるみ

Royal Northern College of Music (ユーフォニアム専攻)

「本物のステージ経験を多く得られた3年間」

私は、中学校の吹奏楽部でユーフォニアムを始めました。新入部員にランダムに割り当てられたことで出会った楽器でしたが、深く温かみのある音とプラスバンドの力強い演奏を聴くうちにだんだんと惹かれていき、専攻として勉強することを決意しました。ユーフォニアムはトランペットやトロンボーンなどの他楽器に比べて歴史が浅く、これからさらに発展していく可能性が大きいことも、この楽器を深く学びたいと思った一つの大きな理由です。

東邦第二高等学校は、中学生の時に師事していた先生の紹介で知りました。体験レッスンや説明会への参加を重ねる中で、熱心な先生方の指導を受けるうちに、この学校なら安心して行くことができると強く惹かれました。その思いは、入学してから確信に変わりました。先生方は、とにかく生徒一人ひとりに真摯に向き合ってくださいました。アットホームな校風もあり、担任の先生だけでなく誰もが温かく話しかけてくださり、その雰囲気にとっても助けられました。専攻も進路も違う全生徒に対して、親身になってサポートして下さる先生方には今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

また二高は、仲間と共に切磋琢磨し、お互いに高め合える素晴らしい場所であると同時に、自分自身と向き合えるとても素敵な場所でした。それぞれ専攻楽器が違うので良い意味で独立してはいるのですが、一方では音楽を学ぶ者同士として、時には助け合い、同じ目標を目指す、そんな仲間にも恵まれた3年間でした。

具体的には、附属高校ならではの大学の授業や合同の演奏会等に参加できたことが一番のメリットだったと思います。大学生や卒業生の生の声を実際に聞くことで、将来のビジョンがよ

り明確に想像できました。3年次には多くの代表演奏に選んでいただきましたが、その中でも「三室戸学園80周年記念イベント」での演奏がとても思い出に残っています。初めてグランツァールという大きな舞台での代表演奏でとても緊張していましたが、演奏後にたくさんの方からありがたい言葉かけていただき、このイベントで演奏できた喜びを改めて感じました。同時に、演奏者としての責任感や課題も見え、その後の練習へのモチベーションにつながるとても良い機会となりました。

現在は、イギリスの Royal Northern College of Music において、ユーフォニアム専攻生として学んでいます。ソロパフォーマンスに加え、学内のアンサンブルやプラスバンドにも参加、また、演奏以外では音楽と社会情勢、ジェンダーの関係性の研究、並びに音楽業界における YouTube や Instagram などのオンラインプラットフォームの可能性に関しての研究にも力を入れています。学外では championship section のプラスバンドで principal euphonium として活動しています。

ユーフォニアムは管楽器の中でも比較的大きい楽器ですので、始めた当初は体力をつけるのにひと苦労しました。二高受験前から基礎をしっかりと意識して練習してきましたが、それは海外留学して勉強の傍ら数々の演奏会に出演する機会をいただいている今も続いています。また、二高時代から楽器の練習に加え、できる限りたくさんの演奏会に出向きました。音楽に触れられる機会を積極的に作って知見を広げたことは、外の世界で学ぶという今につながりました。学ぶ場所は変わっても、二高での数々の経験が私を支えてくれていると感じています。



専門性と確かな技術を育む4つの専攻

ピアノ専攻、声楽専攻、管弦打楽器専攻、作曲専攻を開設。

バランスの良い知性・感性とともに、個々の可能性を広げる確かな基礎力と演奏技術を育みます。

ピアノ専攻

Piano

身につけなければならない
技術・知識を徹底的に指導します

大学・大学院までの長いスパンで成長することを見据え、そのために高校の3年間で身につけなければならない技術・知識を徹底的に指導します。演奏の土台となるテクニックは、独自のテキストを用いて確実に向上させます。生徒の特性や学習経験を踏まえ、きめ細かなレッスンによって、個々の資質を最大限に引き出します。

Message



中島 裕紀
・東邦音楽大学教授

上達のために必要なのは、音楽が好きで、弾くのが楽しいという気持ちです

音楽を学ぶことは、尽きることのない泉のように、私たちに感動と喜びを与えてくれます。一つの曲を仕上げていく過程では、努力や忍耐が必要ですが、上達のために最も必要なことは、音楽が好きであり、弾くのが楽しいという気持ちです。その気持ちがある限り、音楽は生涯を通じた友として、常に寄り添ってくれると思います。何事も楽しみながら、そして勇気を持って取り組んでください。



声楽専攻

Vocal

個々の身体の発達に合わせた
発声練習を実施

音楽の中で唯一「言葉」を伴う声楽は、母音と子音の正しい発語を意識することで表現の骨格が定まり、安定した歌唱が可能になります。個々の身体の発達に合わせ、まずは呼吸(呼気)・支え・響きを重視した発声練習を実施。さらに練習曲(コンコーネなど)で声づくりをし、作曲家の作品を通して、音楽史をふまえながら技術を磨きます。

Message



大槻 孝志
・東邦音楽大学特任准教授

生徒一人ひとりが抱える壁に気づき、一緒になって乗り越える

一番身近で誰もが生まれ持っている「声」を使い、「歌心」を養い育てることが必ず演奏する上で役に立ちます。技術ばかりに重点を置いてしまいがちですが、ここではまず癖の無い自然な声を身につけながら自分の声で感情表現できるように指導していきます。若くこれからの無限の可能性に満ちている皆さんは、自身が生まれ持っている原石を、生涯を掛けて磨き続け、輝かせることが宿命だと思います。そのために少しでもお手伝いができればと思っています。共に楽しく歌いましょう♪



管弦打楽器専攻

Wind, String and Percussion Instruments

実践的なアンサンブルの中で コミュニケーションを学ぶ

基本奏法を習得し、実践的なアンサンブルの中でコミュニケーションの大切さを学びます。また、豊かな表現力を育むために、音楽全般やその他の教科にも興味を促し、幅広い視野を養う指導を行います。

【専攻楽器】

フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、打楽器

Message



村越 麻希子
・東邦音楽大学講師

色々な人との出会いを大事にし、 充実した高校生活を

自然体で音楽が演奏できることを目指します。自分が感じていること、楽譜にかかれていたことを表現するために必要な技術を勉強できたらと思います。人として色々な感情を経験できる大事な時期だと思います。今まで出会った先生、先輩、友達から学んだことは今も私の貴重な財産です。音楽の勉強は大事だと思いますが、色々な人との出会いを大事にし、充実した高校生活を楽しんでください。



作曲専攻

Composition

さまざまな知識と技術を 一人ひとりの資質に応じて指導

和声、コード、対位法、カウンターメロディ、アレンジ、音源制作など、作曲にまつわるさまざまな知識と技術を一人ひとりの資質に応じて指導。また、作曲に最も必要な素養である「意思」を重んじ、伝えたい、書きたいと強く思う気持ちを引き出します。さらに、その意思を「音」として表現するためのあらゆる技法を学びます。

Message



萩久保 和明
・東邦音楽大学特任教授

作曲・音源制作は、 現代における貴重な職人芸

作曲・音源制作という孤独な作業は現代における貴重な職人芸であり、演奏にかかわるコミュニケーション能力は社会生活において有用です。とりわけ作曲に関しては「何を書くか書きたいか」が重要ですから、自分の音楽に対する意志を強く持てる学生を育てたいと思っています。ハーモニー、コード進行、対位法、オーケストレーションアレンジ、パソコンによる音源制作まで、そのために必要な知識・技術はすべて教えます。求めよ、さらば与えられん！



演奏活動

Performance

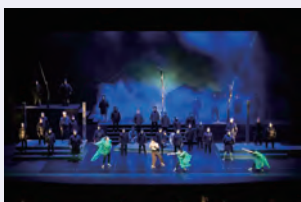
演奏会は、日頃の学びの成果を発表し、生徒自身が成長を実感する大切な機会。一人ひとりの生徒が活躍できるのはもちろん、仲間と協力しあい演奏会を作り上げていくよろこびと達成感は、生徒自身の成長に繋がります。

オペラ作品でプロと共演

近年、生徒にとっても大きなチャンスとなっているのが、埼玉県和光市に本拠地を置く特定非営利活動法人 オペラ彩主催の舞台公演です。合唱団員として参加し、プロの方々と共演させていただく貴重な機会となっています。オペラは音楽、美術、演劇、舞踊のすべてを網羅した総合芸術。今後も多くの生徒たちが経験できるよう全面的にサポートしていきます。



2021年公演、歌劇「カルメン」(ピゼー)



2022年公演、歌劇「秩父晩鐘」(池辺 晋一郎)



2024年1月公演、歌劇「魔笛」(モーツァルト)

ウインドオーケストラ

本校のウインドオーケストラは、式典、東邦第二コンサート、定期研究発表演奏会、地域イベントなど多くの演奏機会があります。日々の指導は東邦音楽大学講師の須永真純先生を中心に、佐藤陵一先生、板橋享子先生が担当。「スプリングコンサート」では生徒たちがプログラムや演出を企画し、協力し合って演奏会を作り上げます。このように仲間と音を奏でる楽しさや達成感を味わいながら、音楽の感性を磨いていきます。



定期研究発表演奏会

川越キャンパスにある音楽ホール「東邦音楽大学グランツァール」では、毎年数回、ソロの演奏、合唱や弦楽合奏、ウインドオーケストラといったさまざまなかたちの演奏会があります。生徒たちは練習と本番での演奏を通じて、みんなで音楽を創り上げていく楽しさや人前で演奏する喜び、達成感を覚えます。また、定期研究発表演奏会では東邦音楽大学・短期大学生による演奏を“聴いて学ぶ”機会もあります。



音楽を通じた地域活動

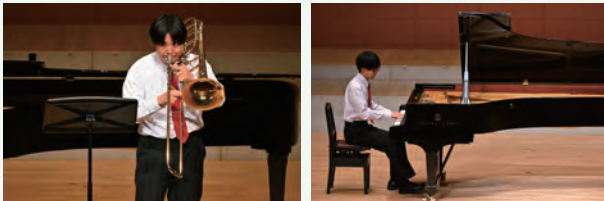
Community service

東邦第二高等学校では音楽を通じた地域社会との交流を積極的に行っています。地元の小中学生や保護者の方々に向けた演奏会を開催、病院・福祉施設を訪問し、ミニコンサートを開くなどの活動を行っています。

2012年には本校の音楽を通じた地域活動(ボランティア活動)が高く評価され国際ソロピアニスト埼玉より「S」クラブの認証を受けました。

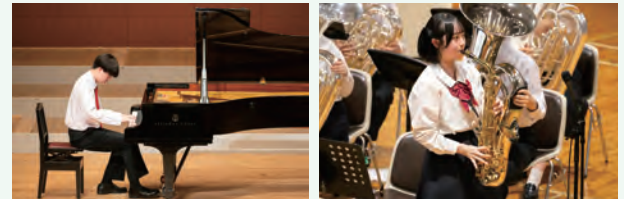
北関東甲信越音楽系高等学校演奏会

2011年度からは北関東甲信越音楽系高等学校演奏会に参加し、生徒同士の交流も深めながら、多くの皆様楽しんでいただけるよう心を込めて演奏活動をしています。令和5年度は東邦音楽大学グランツァールにて第12回北関東甲信越音楽系高等学校演奏会を開催いたしました。東邦第二高等学校から3名の生徒が出演し、演奏を披露しました。



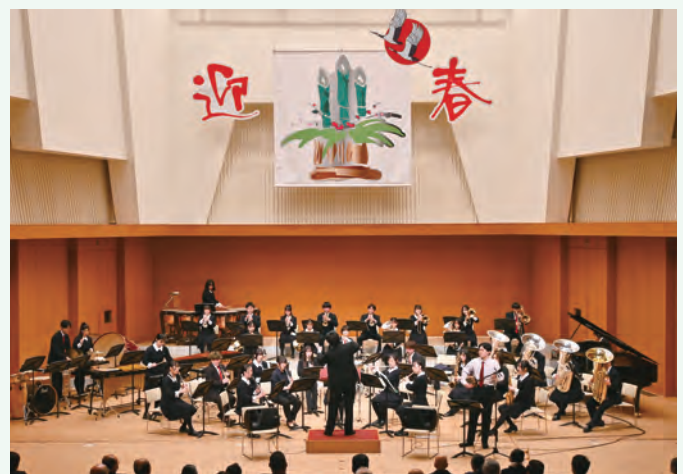
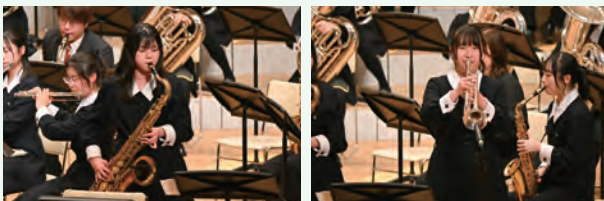
東邦ミュージック・フェスティバル

「東邦ミュージック・フェスティバル」では、学園一体となって様々な演奏会を行います。令和5年度の開催では、クラシカルコンサート、ウインドオーケストラなどに出演しました。また、東邦音楽大学グランツァールでのソロ演奏会、父母保証人バザーなども行い、地域の方々にも多数ご来場いただきました。



ニューイヤーコンサート in 南古谷

川越市南古谷地区の地域活動である「ニューイヤーコンサート in 南古谷」は、東邦音楽大学グランツァールにて開催されます。音楽活動を通じた青少年健全育成、地域交流を目的に開催される同コンサートは、小学校、中学校、高校、大学の生徒・学生から、社会人の方も含む地域音楽サークルまで、幅広い年齢の方々が出演され、新年の門出を飾る華やかな合唱、合奏が披露されます。



TOHO LIFE

School life

埼玉県川越市にある東邦第二高等学校。大学も併設するキャンパスは、音楽を志す生徒に多くの刺激をもたらしてくれます。仲間とともに演奏し、楽しみながら、充実した毎日を送る素晴らしい環境がここにはあります。



緑豊かなゆとりのあるキャンパスは
音楽に集中できる最適な空間

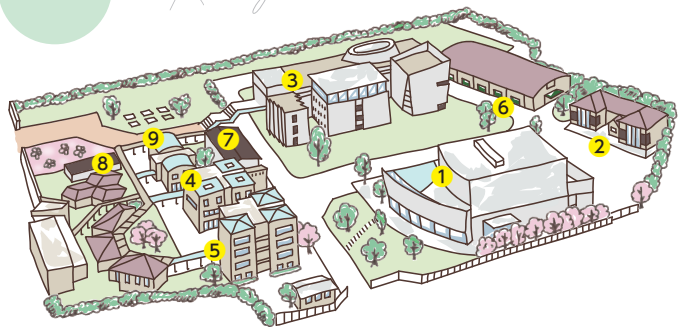
居心地の良いキャンパスには絶えず音が鳴り響きます。音楽ホール「グランツァール」を中心としたキャンパスは音楽を学ぶ喜びを十分に味わえる環境となっています。

／ アットホームな校風と
充実した施設で
のびのびと音楽を学べます！



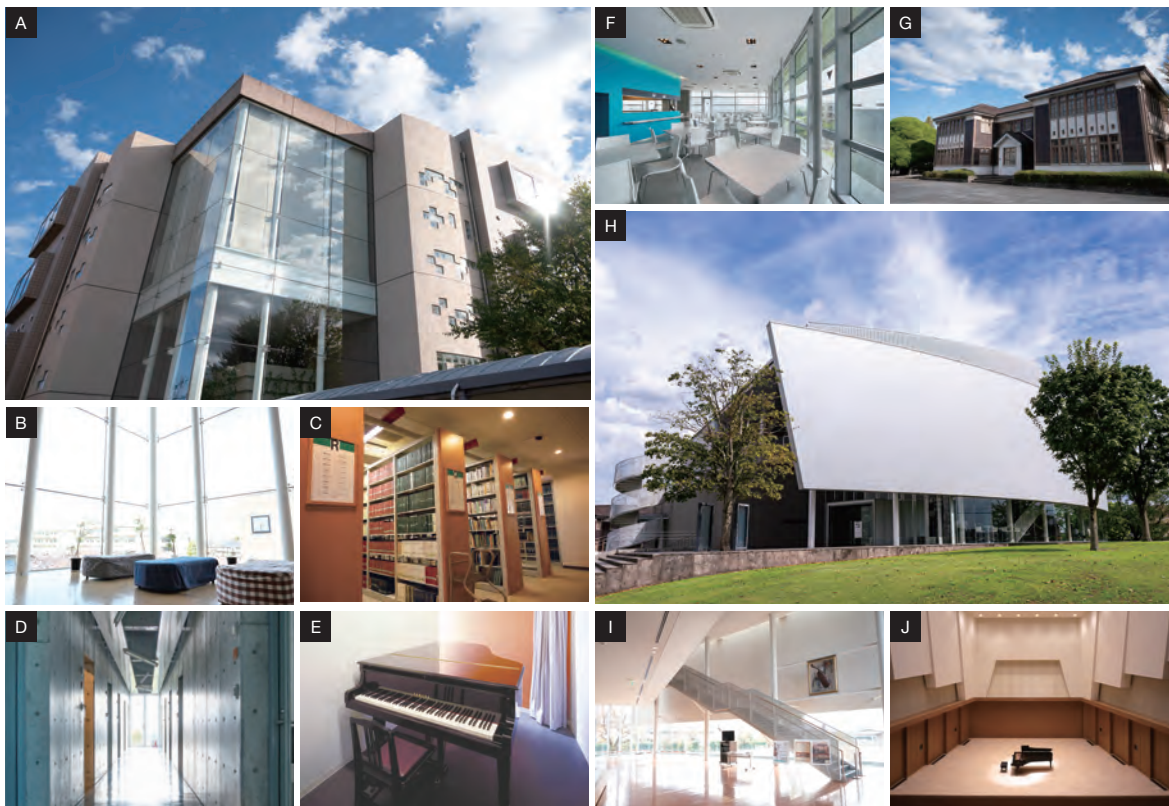
MAP

Kawagoe Campus



- ①東邦音楽大学グランツァール(14号館) ②東邦音楽学校 三室戸記念館(1号館) ③70周年記念館(16号館)
- ④図書館棟・コンピューター演習室(12号館) ⑤東邦音楽大学附属東邦第二高等学校(11号館)
- ⑥体育館兼演奏講堂 ⑦講義室・レッスン室(9号館) ⑧ヤマハミニショップ(8号館) ⑨本部棟(13号館)

施設紹介



練習環境がしっかり整っているとこ
ろも魅力です！



【A】東邦第二高等学校校舎 【B】天井までガラス貼りの東邦第二高等学校校舎ホワイエ。大きな窓を通じてたくさんの自然光が差し込み生徒たちが多くの時間を過ごします
【C】楽譜約22,000冊、音楽専門書約 10,000冊、その他 CD、DVD、一般書籍を所蔵する「図書館」。視聴覚室も備えています 【D】E グランドピアノを設置した「個人練習室」。多くの生徒が始業前や放課後の時間を活用して練習に励んでいます 【F】晴れた日には富士山を眺望することができる「スカイレストラン（学生食堂）」 【G】創立当時から文京キャンパスにあった記念館。移築された現在は打楽器の練習や史料室として使われています 【H】I】様々な演奏会で使用される本格的音楽ホール「グランツァール」。本校の生徒も定期演奏会などでこの舞台に立ちます。

大学生もいる環境は刺激もたくさん！ たくさんの学びと発見があります！



SCHOOL UNIFORM

制服は、演奏会にも着用できるフォーマルなデザインで、色は黒。冬服は男子がブレザー、女子がAラインのワンピーススタイル。セーターとベストは白・黒の2種類、コートはグレー・黒の2種類から選べます。

Winter

Summer



Message










村山 斐香
・声楽専攻

音楽を志す仲間はライバルでありよき相談相手でもある

東邦音楽大学附属東邦第二高等学校に入学する前は、自分のために歌っていましたが、レッスンや演奏会を重ねるごとに「人に聴かせる歌」という方向性に変化してきたと感じています。入学前と比べて「今の高音いい声だった！」などの気づきがあり、成長を感じることができます。二高の先生は温かい方ばかりで、生徒とも仲が良く、心地よい学校生活を送っています。友達はライバルでもあり、時には悩みを相談したり、良好な関係性です。将来はオペラなどの舞台に立ちたいと考えており、音楽学校に来なければ身につけることができなかった技術、知識を活かせるらしいなと思っています。

高校生の1日

8:30	 登校	ホームルーム前には、16号館の個人練習室などで自由に練習することもできます。
8:40	 午前の授業	国語、数学などの教科はもちろん、音楽理論を学ぶ「楽典」、ピアノの音を五線譜に書き取る「聴音」など、音楽の専門的な授業もあります。3年生では、ドイツ語も学習します。
12:30	 昼休み	富士山も見ることができる展望の良いスカイレストラン(学生食堂)では、栄養バランスのとれた美味しいランチに自然と会話がはずみます。
13:10	 午後の授業	午後の授業は通常の授業に加えて、曜日や専攻によっては合奏の授業などがあります。
14:00	 HR 終礼	5時間授業の日は14:00に授業が終了、6時間授業の日は15:00に終了します。
15:00	 放課後	実技レッスン、合奏、個人練習など、時間の使い方はその日によって様々。次の本番などの目標にむけてひたすら練習に打ち込みます。
17:00	 帰宅	次の日の予習をしたり、次のレッスンのための譜読みをしたりすることも。体調を整えることもとても大切なことですね。

大好きな音楽に囲まれて、充実した毎日を送っています。



年間行事

4	入学式 始業式 オリエンテーション 新入生歓迎演奏会 健康診断	10	2学期中間試験 東邦ミュージック・フェスティバル スポーツ大会
5	1学期中間試験 修学旅行(3年)	11	クラスコンサート(2年) 定期研究発表演奏会(オーケストラの部) 定期研究発表演奏会(合唱の部)
6	北関東甲信越音楽系 高等学校演奏会 東邦第二コンサート 合唱コンクール	12	2学期学科期末試験 後期実技試験(3年) 定期研究発表演奏会(ウインドオーケストラの部) 終業式 冬休み
7	1学期学科期末試験 前期実技試験 定期研究発表演奏会(ソロの部) 終業式 夏休み	1	冬休み 始業式 ニューイヤーコンサート in 南古谷 クラスコンサート(1年)
8	夏休み レッスン補講期間	2	学科学年未試験 3年生を送る会 東邦第二コンサート 卒業演奏会
9	始業式 避難訓練 芸術鑑賞教室	3	後期実技試験(1・2年) 卒業式 謝恩会 修了式 スプリングコンサート 春休み

※例年の予定です。



学校紹介の動画はこちら▶



川端まひろ

東邦第二高等学校 2019年卒業

二高は、夢に向かって学びを深め、音楽を通して「忍耐力」を培った場所

私は小学生のころから先生という仕事に憧れていました。中学生の時に子どもたちと真剣に向き合ってくれる先生に恵まれたことで、思いはより強くなり、その夢に向かって努力を始めました。ピアノは小さいころから続けていたのですが、そのころは「音楽高校」というものがあることさえ知らず、進路について考えはじめたころに東邦第二高等学校の存在を教えてくださいました。

「私学フェア」という学校案内のイベントで、教員を目指すのであれば東邦音楽大学に「教職実践専攻」があると聞き、附属高校への入学を決めました。もちろん教師になる夢はありましたが、音楽高校に入るからにはピアノで頑張りたい！という気持ちから、ピアノ専攻を選びました。

入試前は、教わっていた先生により多くのピアノのレッスンをしていただいたり、実技試験対策のために無料体験レッスンを受けるなどして備えていきました。小論文は中学校の国語の先生に添削していただいたことを覚えています。

公立中学校に通っていた時は勉強がメインで、音楽に熱を入れる仲間はいなかったのですが、高校に入学すると、本気で音楽を志す仲間がたくさん出会えました。それがまず、音楽の高校を選んで良かったと思えたことのひとつです。そんな仲間たちがいたからこそ、一緒に練習に打ち込み、お互い技術を磨き、成長できたのだと思います。互いを高め合える場はとても貴重で、高校3年間で自分がこれだけ頑張れるのか、ピアノがここまで上達できるのかと、今振り返っても充実した高校生活を送れたと感じています。

先生方は、生徒一人ひとりに対してとても丁寧に指導してくださいました。大学に進んでからも、二高にはいつでも迎えてくれる先生方がいて、我が家のような場所だと感じています。

音楽の高校ですから、演奏会をはじめとした行事が1年を通してたくさんあるのですが、音楽以外のイベントも充実しています。中でもスポーツ大会が一番の思い出です。障害物走という種目があり、その中に手を使わずに小麦粉の中から飴を探すものがあるのですが、毎年顔が真っ白になった人が多くいて面白かった記憶があります。音楽だけではなく、普通科の高校生と同じようにたくさんの思い出を作ることができたのも嬉しかったですね。

その後、大学で「教職実践専攻」に進んだこともあり、教員免許取得に向けての勉強がメインとなったので、人前で演奏する機会は多くはなかったのですが、東邦ミュージック・フェスティバルなどで同じ門下の先輩や後輩とピアノアンサンブルをするなど、演奏も楽しみました。アンサンブルで同じ音楽と一緒に作り上げていく楽しさを知ることでできた演奏会は、私の大学時代の良き思い出として心に残っています。

私はこの春から、小学生のころからの夢を叶えて教員になることができました。好きな音楽を深く学びながら、夢を叶えることができた東邦の二高、大学には感謝しかありません。仲間や先生は、いつも私を応援してくださいましたし、自分自身、最高の環境の中で集中して学ぶことができました。音楽を通して培った「忍耐力」はどんな職業でも強みになると思います。児童・生徒に音楽の楽しさを伝えることができる先生を目指して、これからも日々勉強していきたいです。



音楽の学びに欠かせない実践力を育むために

東邦音楽大学附属 東邦第二高等学校

教頭 関守

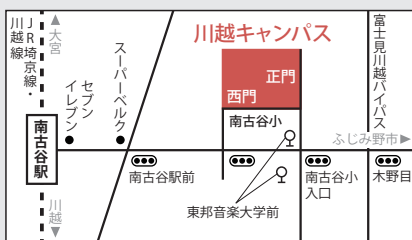
本校は、音楽の専門教科のみならず普通教科においても実践力を養うことを目指しています。特に英語やドイツ語などの外国語は、従来の暗記型の教育では本当の力は身につけません。そこで我々は教科をひとつのツールと位置づけ、それを通して考える力や自己表現力まで磨くような授業を推進しています。実は、そうした実践的な基礎学力は、音楽理論や演奏研究といった専門教科を理解するうえでも不可欠で、両者のバランス良い学びの相乗効果によって、演奏テクニックや表現力の向上も一層期待できるのです。将来に生きる多くの知識と技術を、ぜひ本校で培ってください。

Message

HISTORY

- 1934年 「東京高等音楽学院」(国立音楽大学の前身)院長であった三室戸敬光が、JR大塚駅前に「東京高等音楽学院大塚分教場」を開設。
- 1938年 三室戸為光が「東京高等音楽学院大塚分教場」を継承。校名を「東邦音楽学校」と改称し、全国唯一の昼夜2部制の音楽学校を立ち上げる。三室戸為光が初代校長に就任。
- 1947年 東邦中学校(男女共学)開学。
- 1948年 東邦高等学校開学。普通科および全国初の音楽科を開設。
- 1951年 東邦音楽短期大学(音楽科)開学。
- 1963年 埼玉県川越市今泉に川越キャンパスを設置。東邦第二高等学校(普通科・女子)開学
- 1965年 川越キャンパスに東邦音楽大学(音楽学部音楽学科)開学
- 1969年 東邦第二高等学校普通科を音楽科に移行。
- 1983年 三室戸東光が理事長に就任。
- 1997年 東邦中学校・東邦高等学校校舎(8号館)竣工。
- 2001年 東邦中学校・東邦高等学校・東邦第二高等学校の校名を「東邦音楽大学附属東邦中学校・東邦高等学校・東邦第二高等学校」と改称。
- 2003年 東邦音楽大学附属東邦第二高等学校(男女共学制)実施。
- 2018年 三室戸学園創立80周年記念式典を挙行。
- 2023年 三室戸学園創立85周年。

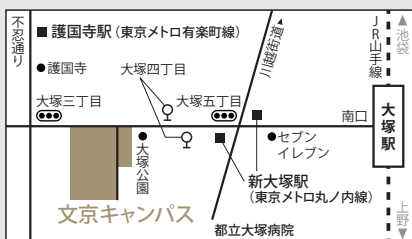
ACCESS MAP



川越キャンパス

〒350-0015 埼玉県川越市今泉84
TEL.049-235-2157

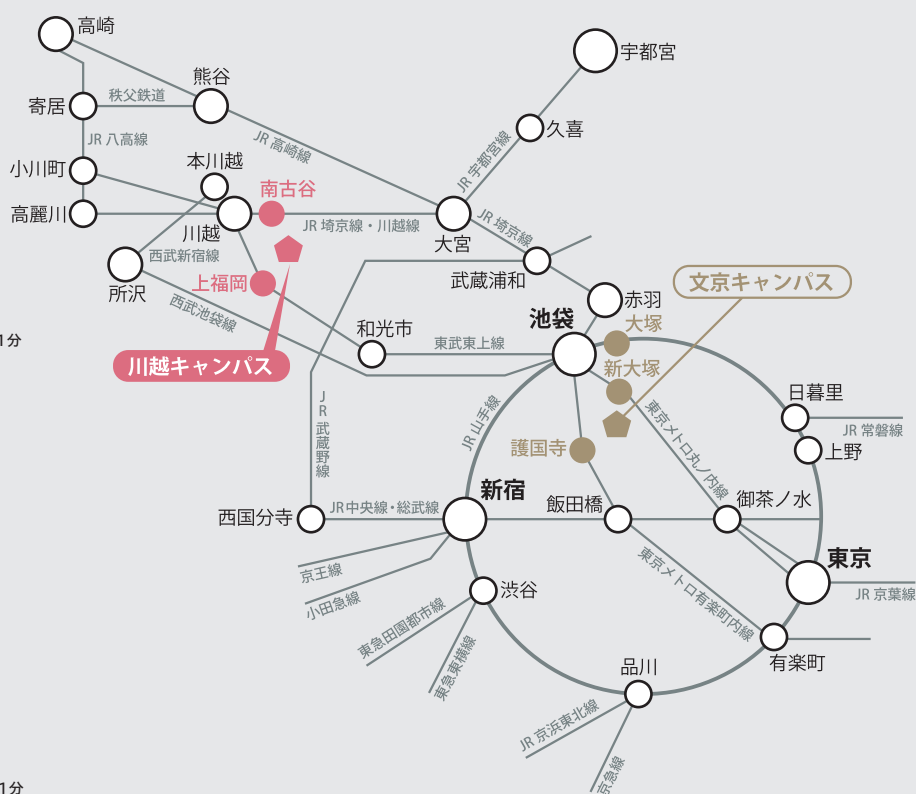
- JR埼京線・川越線「南古谷」駅下車
スクールバスで約3分、または徒歩約10分
- 東武東上線「上福岡」駅 東口より
・川越キャンパス行きスクールバス乗車、約12分
・西武バス 古01「南古谷駅」行き乗車、「東邦音楽大学前」下車、徒歩1分



文京キャンパス

〒112-0012 東京都文京区大塚4丁目46-9
TEL.03-3946-9667

- 東京メトロ丸ノ内線「新大塚」駅下車、徒歩3分
- 東京メトロ有楽町線「護国寺」駅下車、徒歩8分
- JR「大塚」駅下車、徒歩10分または都バス「大塚4丁目」下車、徒歩1分





学校法人 三室戸学園 理事長
三室戸 東光

附属校から短期大学、大学、大学院、研究所、そしてオーストリア・ウィーンキャンパスまでを擁する本学園の特徴は、附属校と大学の「高大連携接続」を柱とした音楽一貫教育にあります。感性豊かな時期に演奏基礎力を身につけ、個性を生かせるように楽譜を解釈すること。さらに、音楽の幅や奥深さを知識として吸収し、専門性を磨くことと同時に、一貫教育を通じて調和のとれた人格を形成することが重要なのです。というのも、音楽を学ぶ意義は「豊かな人間性の育み」であり、習得の過程で培われる理解力・想像力・忍耐力・コミュニケーション力はあらゆる社会生活の糧になるからです。

事実、卒業生たちは不断の積み重ねに基づく優れた演奏力と安定感を有し、多様な分野で自分を表現しています。そうした理念に則し、本校はできるだけ音楽に囲まれた環境を提供することに努め、ボランティアコンサートや学内外の演奏会なども積極的に行っています。その中で生徒個々が自立心を養い、学校で得た能力を夢ある未来に生かしてくれることを願っています。



東邦音楽大学附属 東邦第二高等学校
校長 吉原 敦子

東邦第二高等学校は、東邦音楽大学川越キャンパス内に校舎を構え、生徒は恵まれた音楽環境を大学生と共有しながら、伸び伸びとレッスンや学習に励んでいます。本校の教育目標は、音楽に関する多様な授業をはじめとする全教育課程を通して、豊かな情操を育み、知・徳・体のバランスの取れた人格形成を図ることです。将来何らかの形で音楽に携わってほしいとする生徒にとって、専門性を高めると同時に、多彩な体験や他者との協働により自己実現を果たすことはとても大切です。本校はそのことを念頭に置いてカリキュラムを編成しています。また、講師陣は「生徒をよく理解し、適切な指導で才能を開花させる」ことを理想に掲げて教育に取り組んでおり、生徒との信頼関係を築いています。

「温かい風」をお互いに吹かせながら、音楽を通して、それぞれが「新しい未来の「風」をつくり可能性を伸ばす場所。それが東邦第二高等学校です。

■ 学校法人三室戸学園

〒112-0012 東京都文京区大塚4丁目46-9 TEL 03-3946-9666

東邦音楽大学附属 東邦第二高等学校

[川越キャンパス] 〒350-0015 埼玉県川越市今泉84 TEL 049-235-2401



東邦音楽大学附属 東邦第二高等学校公式サイト
<https://www.toho-music.ac.jp/highschool2/>



体験レッスン・イベントのお申し込みはコチラ
https://www.toho-music.ac.jp/highschool2/application/highschool2_app/

